

## BPR研修業務委託に係る質問に対する回答

令和6年10月15日（火曜日）

No.	文書、該当資料名	頁	内容	回答
1	プロポーザル実施要領	3	業務実績書について令和元年～令和5年度までとありますが、令和6年度の案件も対象としてよろしいでしょうか。	業務実績書に記載する実績は、「令和元年度～令和5年度、主なもの5件以内」としてください。
2	プロポーザル実施要領	3	業務実績書 様式4について。事業者としての同種の実績を記載（令和元年度～令和5年度、主なもの5件以内）および※様式4「業務実績書」及び様式5「担当者経歴調書」に記載する業務は、「国または地方公共団体のデジタル人材育成に関する研修業務」を記載すること、との記載があります。「〇〇市長会」からの受託事業（加入自治体職員向けの研修）を申請したいと考えておりますが、類似実績の対象となるでしょうか。	知事会や市区町村長会などからの受託事業において、加入自治体職員向けの研修を実施した場合は、類似実績として認めます。
3	プロポーザル実施要領	5	プレゼンテーションの日時についてご確認です。実施日時をご相談することは可能でしょうか。（例：7日午前中を希望）。	プレゼンテーションの日時について、希望や相談をお受けすることはできません。
4	仕様書	2	1コース25名までを対象とし、2開催実施も可能でしょうか？ 25名×2開催=50名まで	お見込みのとおりです。
5	仕様書	2	開催回数・研修時間で「1回以上」、「2回以上」とありますが、上限回数はありますか？	開催回数に上限はありません。また、研修時間は1回あたり7時間までとします。なお、受講者数については、仕様書8（4）イを御留意ください。
6			貴市では、今までにBPRはどのような取り組みをされていますでしょうか？	本市では、これまでにBPRとして手続のオンライン化やRPA、AI-OCR、GISの活用などに取り組んでいます。また、BPRの推進のため、令和4年度、所属長や各課のデジタル化推進員等向けに窓口サービス改善の取組を事例としたBPRの取組方について、令和5年度、各課のデジタル化推進員向けにAI-OCR及びRPAを活用したBPRについて、研修を実施しています。
7			貴市では、どのようなIT技術が導入されていますでしょうか？ （例：RPA、AI-OCR、ノーコードツール、電子申請、生成AIなど） 具体的なプロダクト名を可能であれば、ご教示ください。	本市で導入している主なシステムやツールは、下記のとおりです。 RPA (WinActor) ・ AI-OCR (DX Suite) ・ 統合型GIS (PasCAL for LGWAN) ・ 公開型GIS (わが街ガイド) ・ 電子申請 (e-TUMO APPLY) ・ 文書編集ツール (DocuWorks)

## BPR研修業務委託に係る質問に対する回答

令和6年10月15日（火曜日）

No.	文書、該当資料名	頁	内容	回答
8			今回研修対象者を課長職にした、理由や背景をご教示いただけますでしょうか。	本市では、昨年度までに管理職や各業務主管課においてデジタル化推進を牽引する中核的存在となるデジタル化推進員などを対象にデジタル化推進に係る意識醸成や知識習得を図る研修を行ってきたことを踏まえ、今年度はBPR手法の習得を図ることを目的としています。各業務主管課におけるBPRの取組には、その目的や手法等に係る管理職員の理解が必要となるため、また、デジタル化推進員への研修は別途計画しているため、本研修においては課長職を対象にしています。

※質問内容は原則として原文のまま掲載していますが、質問者を特定可能な記述などは一部内容を編集しています。